

令和2年国立市議会第1回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第1回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスへの対応についてですが、日本国内において感染者が確認され始めた1月31日に第1回対策会議を開催し、「国立市の現状における対策の方針」を決定して、情報の収集と発信、各施設窓口におけるアルコール性消毒液の配置及び職員のマスク着用の周知などに努めてまいりました。

その後、都内においても感染が増加してきた2月20日には第2回対策会議を開催して各部の情報共有を行い、2月21日に国立市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。本日までに2回の本部会議を開催し、「国立市及び関係団体が主催するイベント等に関する基本方針」を決定したほか、市の体制や職員の勤務体制など、感染拡大を防止するための対応を決定しました。

この基本方針に基づいて、イベント等の実施の必要性、感染拡大のおそれなどを考慮し、2月22日に予定されていた幼

児教育講演会、2月24日に予定されていた市長と語るタウンミーティングをはじめとするイベントや事業、各種審議会を中止又は延期としました。また、実施する必要があり、日程の変更が困難なイベント等は、感染リスクへの必要な対策を講ずることとしました。

新型コロナウイルスの感染拡大は依然として予断を許さない状況が続いていることから、市民の皆様の安全・安心を確保するため、引き続き情報の収集と発信及び適切な対応に努めてまいります。

それでは、12月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

人権週間におけるイベントについてですが、12月11日にくにたち市民芸術小ホールにて、体験劇「絹子ものがたり」を開催しました。当日は330名の方にご参加をいただき、「しょうがいしゃがあたり前に地域で生きる」をテーマに重度しょうがいを持つ市内在住の三井絹子氏の生涯としょうがいしゃの人権、福祉向上のために取り組んでこられた活動の歴史を体験劇として披露しました。あわせて市内のダンスサーク

ル「ロック・ショウ」の皆様によるダンスが披露され、参加者の皆様とともにソーシャル・インクルージョンのまちづくりに向け、人権や多様性について考える機会となりました。

次に、行政管理部関係です。

国立市消防出初式についてですが、1月12日に谷保第三公園において開催しました。当日は、国立市消防団、自主防災組織、立川消防少年団をはじめ、国立第三中学校の吹奏楽部にもご参加をいただき、盛大に開催することができました。

ご協力、ご参加をいただきました皆様に感謝申し上げます。

次に、「市長と語るタウンミーティング」についてですが、1月18日に市役所3階会議室にて「みんなで考える、くにたちの防災・減災」をテーマに実施しました。

当日は32名のご参加をいただき、率直な意見交換のできる貴重な場となりました。いただきました多くのご意見を市政に反映させてまいります。

次に、健康福祉部関係です。

国立市生活保護業務適正化に関する調査検証委員会についてですが、令和元年（2019年）8月から12月までの間に5回

の会議が開催され、1月15日に検証結果報告書の答申をいただきました。いただいた答申に基づき、今後の生活福祉行政をよりよいものとしていくよう努めてまいります。

なお、詳細につきましては、本定例会中の福祉保険委員会に報告させていただきます。

次に、健康づくりに関する講演会についてですが、1月27日に東京女子体育大学教授の秋山エリカ氏を講師にお迎えし、「始めませんか？たった5分の体操で動きやすいカラダづくり」と題して講演会を開催しました。講師が考案された「くにたちオリジナル体操」の実技指導のほか、新体操競技のボールやりボンなどの演技もご披露いただき、参加された76名の方にご好評をいただきました。

また、2月5日には国立市薬剤師会会長で帝京大学薬学部教授の下平秀夫氏を講師にお迎えし、「たばこと健康。今からでも遅くない禁煙の取組み」をテーマに、市職員に対する研修を兼ねた講演会と肺年齢測定を実施しました。多摩立川保健所と協力し、東京都受動喫煙防止条例の啓発にも努めました。当日は33名のご参加をいただき、エビデンスに基づくわかりやすい内容であったとご好評をいただきました。

次に、国立市民の健康づくり等に関する連携協定についてですが、2月3日に明治安田生命保険相互会社立川支社と締結しました。この協定に基づき、検診の受診率向上や健康づくり事業に連携して取り組むことにより、健康づくり施策をさらに推進してまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

幼児教育推進のための連携に関する協定についてですが、2月19日に白梅学園大学及び白梅学園短期大学と締結しました。今後は、本協定に基づき、幼児教育に関しての人材育成、地域連携及びまちづくりなどの連携協力を進めるとともに、くにたち子どもの夢・未来事業団とも連携しながら、国立市における幼児教育環境の整備に取り組んでまいります。

次に、子どもの居場所づくり事業補助金交付団体による中間報告会についてですが、1月25日に福社会館にて実施しました。子どもの居場所に関わる支援者及び一般の方33名にご参加いただき、補助金を交付する6団体から7つの事業について報告がなされました。また、中高生によるCMスタッフが補助金交付団体の実施する居場所を取材し編集したビデオ映像も公開し、参加した高校生から映像制作にかかる報告もあ

りました。引き続き第2部として、「子ども若者の自立を支える勉強会」を実施し、子どもたちの置かれている現状や、居場所の課題などについて意見交換を行いました。支援者の連携強化に向けて継続して実施してまいります。

次に、くにたち子どもサミットについてですが、2月2日に広島や長崎、シンガポール派遣に参加した小学6年生から高校2年生までの18名が参加し、市役所会議室にて実施しました。サミットでは、子どもたちが持つ権利を具体的に保障するための基本的な条例となる（仮称）子ども基本条例制定への第一歩として、「不登校」と「いじめ」をテーマに、子どもたちが日々抱えている様々な思いをお聞きしました。引き続き、より多くの子どもたち、子育て家庭及び地域支援者からお話を伺い、条例制定に向けて取り組んでまいります。

次に、生活環境部関係です。

やさしい日本語ワークショップについてですが、2月8日に外国籍市民懇談会として、外国人にもわかりやすいように考案された「やさしい日本語」を用いて、生活便利帳を題材に「やさしい日本語」に書き換えるワークショップを行いました。当日ご参加いただいた皆様から、「やさしい日本語」の

活用について多くのご意見をいただきました。

次に、都市整備部関係です。

さくら通りの改修工事についてですが、平成30年度（2018年度）から実施していた工事が完了し、2月3日に交通開放しました。これにより富士見台1丁目から3丁目までの約1.5kmの自転車道が完成し、歩道のバリアフリー化と併せて快適で安全な道路空間を作ることができました。今後も引き続き整備を進め、安心安全なまちづくりに努めてまいります。

次に、くにたちマルシェについてですが、12月8日に谷保第3公園にて農家と市民がつながるマーケットイベントとして、谷保天満宮旧車祭と同時開催されました。

会場では地元農産物の直売のほか、飲食店の出店、子どもたちのダンスショーや音楽演奏を催し、大変多くの市民の皆様楽しんでいただきました。

次に、教育委員会関係です。

学校給食費についてですが、食材や献立を工夫して14年間据え置いてきましたが、物価上昇や消費税増税などの影響により、十分な栄養価を満たす給食の提供が困難な状況となっ

てきました。学校給食センター運営審議会において慎重に議論を重ねた結果、11月に教育委員会へ答申書が提出され、12月24日に開催された教育委員会定例会にて令和2年(2020年)4月1日からの給食費の改定を決定しました。

引き続き、安定した給食食材の確保に努めるとともに、様々な食材を幅広く使用し、栄養価の充足や彩り豊かな献立となるよう努めてまいりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

次に、成人式についてですが、1月13日にくにたち市民総合体育館において実施し、新成人対象のおよそ52.0%、481人のご参加をいただきました。

次に、本田家住宅についてですが、これまで東京都の指定文化財を目指してまいりましたが、2月17日に東京都文化財保護審議会より本田家住宅を東京都指定文化財とするよう答申が出されました。引き続き、本田家住宅及び貴重な資料の保存及び活用に取り組んでまいります。

終わりに、本定例会には、令和2年度国立市一般会計予算案等18議案、報告事項1件を提出させていただいております

が、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案ほか勤務条件に関する条例案及び関連する補正予算案等7議案につきましては、職員団体との交渉の成立など、条件が整いしだい追加議案として提出させていただきます。また、国立市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案につきましては、国会の審議の状況等により、追って提出させていただきます。さらに、国立市教育委員会委員の任命に伴う同意等人事案件4件につきましては、準備が整いしだい追加議案として提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和2年（2020年）2月26日

国立市長 永見 理夫